

(株)清水合金製作所



製造部製造2課

大西 悠介さん

総合情報学部総合情報学科卒
入社7年目

シェア1位の一般弁
小型浄水装置コアに

清水合金製作所は昭和22年に創業した水道用バルブメーカー。主要製品は、全国の水道事業体に納入する仕切弁、補修弁、空気弁などの一般弁で、売上高の約75%を占める。これらの生産および検査台数（日本水道協会）は国内トップを誇る。

「当社は開発から製造、販売まで行う総合メーカーです。過去には他社に先駆けソフトシール仕切弁の国産化に成功し、近年は多品種少量生産が求められる市場ニーズに対応した生産体制を確立しました。不断の努力と挑戦で培った高い技術力を背景に、これまで

成長を続けました。近年は小型水処理装置の開発にも積極的に取り組み、過疎化が進む限界集落の常設施設として、また、頻発する自然災害時の給水施設として活躍しています」と紹介する。

かんばん方式で
多品種少量生産

生産本部製造部製造2課は、主に機械による製品の金属加工を担当する。「工具の移動量や移動速度などを制御するNCプログラムで自動加工を行う設備のほか、マニュアルで操作する汎用機など、様々な設備が工場に並びます。私はソフトシール仕切弁や空気弁といった、比較的生産数量の多い弁類の部品加工

業に取り組みます」と説明する。

生産ラインはトヨタのかんばん方式をベースにした生産体制が導入され

を担当しています。NC旋盤が稼動している間に、ラインに流れる他の部品の塗装や組み立てなど、状況に応じて複数の作

業に取り組みます」と説明する。

生産ラインはトヨタのかんばん方式をベースにした生産体制が導入され

を担当しています。NC旋盤が稼動している間に、ラインに流れる他の部品の塗装や組み立てなど、状況に応じて複数の作

業に取り組みます」と説明する。

生産ラインはトヨタのかんばん方式をベースにした生産体制が導入され

を担当しています。NC旋盤が稼動している間に、ラインに流れる他の部品の塗装や組み立てなど、状況に応じて複数の作

業に取り組みます」と説明する。

生産ラインはトヨタのかんばん方式をベースにした生産体制が導入され

情報技術のエキスパートへ 製造現場のカイゼンに尽力



ソフトシール仕切弁などの部品加工を担当

ている。「受注から納品「現在はIoTやAIをまでの各工程における停滯や無駄を徹底的に排除する高度な生産技術と生産管理を行うもので、最も効率的とされる作業手順の標準化と、改善活動の重要性を学んでいまして」と話す。

調和とチャレンジ
精神を

入社4年目に取り組んだ改善活動は職場で高く評価された。「作業者に着工指示を出すプログラムミンクソフトを製作しました。複数の作業を並行して進める上で、最適な着手のタイミンクを示すものです。今後より重要な情報技術の知識を身につけ、職場に貢献したいという思いで取り組ましました」と振り返り、